
キミがいるから = イナイレ物語 =

長宗我部(・)氷麗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キミがいるから「イナイレ物語」

【Nコード】

N52940

【作者名】

長宗我部（・）氷麗

【あらすじ】

イナズマジャパンに所属している超天然なマネージャー「なつのみ夏野見鈴弥すずやこ夸」はFFIに出場した場で色んな人に出会い、その内、大事な人を見つけると言う話。ほとんど（99.9%）妄想ですハ
；

キミがいるから〃イナイレ物語〃

内容はイナズマイレブンの話です、はい^^;

なつのみすずやち

主人公「夏野見鈴弥夸」

性格「超天然!!言葉が時々・・・変!」

姿「髪はストレートでポニーテールの黒髪、服は雷門中の制服でリボンは黒色」

出てくる人物

・イナズマジャパン全員（一応・・・）

・フィディオ

す、すくねえ・・・ま、勘弁してくれよ（ ）ノ

鈴弥夸「これからヨロシクお願いいたしますすすすす・・・」

フィディオ「噛みすぎ!？」

鈴弥夸「知っていますう・・・」

キミがいるから「イナイレ物語」(後書き)

はいはい！長宗我部（・）（氷麗です）！初の小説が二次元！
？良いのかよ・・・と思いつつ書きます（ハ　；）頑張ります！

キミがいるから「イナイレ物語」？

円堂「皆！行くぞ！FFIだー！」

皆「オーッ！」

秋「楽しみね！どんな戦いになるのかしら？」

鈴弥夸「鈴弥夸も楽しみです！どんな負けかし方をするのかしら？」

春奈「鈴弥夸さん、黒い、黒いですから！」

冬花「アハハ・・・」

私の名前は夏野見鈴弥夸です！今からFFIのため世界に羽ばたいて行くのです！

円堂「鈴弥夸・・・黒いのって初めてじゃねえか？」

こちらはキャプテンの円堂守君！サッカーは上手いけど勉強はいまいち・・・；

豪炎寺「怖くなんなよ・・・？」

こちらは豪炎寺修也君！私に言わせればアナタのほうが・・・いえ、なんでもないです；

鈴弥夸「大丈夫ですよ、怖くなるのはめったにありませんし、なつたらもう手のつけられない程らしいので、怒らないようにしますし」
一同「・・・」

鈴弥夸「？」

網海「ゴメン鈴弥夸・・・」よけい不安”になった！！」

鈴弥夸「ハウワア！？そ、そうですか？？」

秋「言葉の使い方が・・・」

冬花「と、とにかく行きましょう^^」

鈴弥夸「・・・す、スイマセン・・・」

円堂「よし！出発だー！」

今回はイタリアに着きました。そこで私は会いたい人がいるのです。
それは・・・

フィディオ「鈴弥夸！」

鈴弥夸「フィディオ君！」

そう、幼馴染のフィディオ君！！私が楽しみにしていた一つです！
フィディオ「良く来たね！守も久しぶりだね！」

円堂「ああ！久しぶりだ！」

これから個々でおきる事、試合の事、全てが楽しみ！

鈴弥夸「フィディオ君、すごい負け方してあげるからね」（ニコ）

フィディオ「鈴弥夸・・・黒くなったね^^;」

一同「だろ！？/でしょ！？/ですよね!？」

鈴弥夸「皆そこまで言わなくても・・・」

これからおきる事を私達を知る暇もなかった・・・

キミがいるから「イナイレ物語」？

ワイワイ・・・

フィディオ「・・・・・・・・」

円堂「どうしたんだ？フィディオ？」

フィディオ「ホントにアイツ鈴弥夸？」

円堂「何いつてんだよ！そうに決まってるだろ？」

フィディオ「だけど・・・すごく変わった・・・」

「数年前」

俺が日本にいた時、鈴弥夸とはマダ関わりはなかった・・・

フィディオ「今日からココに通うんだ・・・ウーアー・・・緊張する・・・」

ガヤガヤ・・・

フィディオ「??」

行ってみると一人の女の子がうすくま踞っていた。その周りに男の子数人がいる・・・

男の子「ヤーイ！江戸時代娘〜！」

男の子2「江戸時代娘のくせにココに居て良いのかよ！」

女の子「・・・」

フィディオ「やめるよ！可哀想だろ!？」

男の子「関係ない奴が入ってくんなよ！」

男の子2「一旦引こうぜ！」

タッタッタッタッタ・・・

フィディオ「大丈夫？」

スッ・・・

俺が手を伸ばした瞬間・・・

パァンッ！

フィディオ「?!」

鈴弥夸「鈴弥夸、助けてなんて言ってるじゃない!!」

フィディオ「・・・え？」

ああ、だから江戸時代か・・・

鈴弥夸「《イコール》江戸時代

って訳ね・・・」

フィディオ「鈴弥夸って言うんだ！ヨロシク^^俺、フィディオ！」

鈴弥夸「なんで名前知ってるの！？」

いま自分で言っただじゃん！

鈴弥夸「ま、まあ・・・一応アリガト！フィディオ・・・／／／」

カワイイな・・・ツンデレかな？

それから俺達は良く一緒に行動した。カップルとか言う奴もいたけど俺はそれでも構わなかった。

フィディオ「一緒に帰ろーよ！鈴弥夸！」

鈴弥夸「ゴメン 今日無理^^」

やけにご機嫌だな、何があっただろう・・・

鈴弥夸「今日、ママとパパと外食に行くんだ」

へえ・・・鈴弥夸の家ってママ達があんまりいないんだよね・・・

フィディオ「そっか お土産話、待ってるよ！」

鈴弥夸「うん！」

そして、外食に行く途中・・・

キーツ！ドンツ！

鈴弥夸の両親は亡くなった・・・鈴弥夸は遠くの親戚に預かってもらう事になり、離れ離れになってしまった・・・

フィディオ「鈴弥夸・・・」

その時、俺もイタリアに帰る事になっていた・・・

鈴弥夸「ゴメンね・・・フィディオ」

フィディオ「何が？」

鈴弥夸「お土産話・・・無しになっちゃった・・・」

フィディオ「・・・」

それから俺達は、離れる事になった・・・

「現在」

フィディオ「そこからは俺は鈴弥夸がどうして生活していたのかは知らない」

円堂「そっか・・・」

フィディオ「ずいぶん性格が変わってて一瞬誰か分からなかった・・・」

円堂「そうか・・・」

フィディオ「俺は人の悲しみが人の心を大きく変えたんだと思うんだ」

俺はあの時小さかった。守ってあげられなかった。けどもう違う、守ってあげられる。これから俺が守るよ、鈴弥夸・・・

キミがいるから「イナイレ物語」？（後書き）

ハイハイ！長宗我部（・）氷麗です！今回わフィディオと
鈴弥夸の昔の関係を書いてみました！いや〜ツンデレちゃんは可愛
いね〜？長宗我部（B A S A R A）みたいにグイグイ系も好きだけ
d（）やm

と、とにかく！次回もお楽しみに〜^^；

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5294o/>

キミがいるから = イナイレ物語 =

2010年10月28日01時04分発行